

議会 だより

No. 155

長野県 原村

令和4年度決算 2

9月定例会 審議から 7

各事務組合決算 9

一般質問 10



笑顔の夏、ふたたび。

第28回原村よいしよまつりにて

(インタビュー#16ページ)

原村議会の情報は
ホームページからも
ご覧いただけます



「マチイロ」
アプリからも
ご覧いただけます



基盤の成長

令和4年度
決算

[歳入] 54億4,193万円
[歳出] 46億1,842万円

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の長引く影響と行動制限の緩和、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻の影響で世界的にエネルギー・食料価格が高騰し、住民生活を圧迫した。

歳入は、地方交付税の増税、村税収入が過去最高額となった一方、外国人帰国による徴税不可などが発生している。また、長年販売に苦慮したフラワー団地全区画の販売が完了した。

歳出は、住民への緊急経済対策とエネルギー価格高騰に対応した。感染防止対策、デジタル化による業務効率化推進整備、地方創生拠点整備交付金を活用した子ども子育て支援センターの建設、住民の地域づくり支援、空き家の活用による地域活性化を進めた。また、令和2年に認定された八ヶ岳西麓原村ワイン特区は、新たに茅野市、富士見町を加えた八ヶ岳西麓ワイン特区への変更を行った。温暖化の影響によるぶどう、果樹栽培の適地化やワイナリー建設が進んだ。

今定例会では、令和4年度「成長の基盤を創る予算」が、住民生活にどのように生かされたのかを考え、決算審査、住民インタビューを通じて効果を検証した。今後の新年度予算にどう反映していくか引き続き注視していく。

会期29日間の最終日には、牛山新村長による企業版ふるさと寄附金を活用した補正予算の提出があった。村長提出議案18件、委員会と議員提出議案2件を認定及び可決し、陳情1件を採択、3件を不採択とした。

6次産業化支援事業補助金

200万円

基盤

農業者の所得向上及び経営規模の拡大を図り、原村の農産物の地産地消及び高付加価値化を促進するため、6次産業化の推進に必要となる機械器具・施設整備に要する経費に対して2件の事業者に交付した。上限100万円、経費の1/3以内。



特区が出来、小規模で参入出来たことはありがたいです。今後、葡萄の種類が増えてくれば更に設備を増やすことも考えています。海外の機械も導入し多額の費用が掛かっていて、少しでも補助を頂けるのは助かります。また、地域のワインをPRできる場所があると良いと思います。

水掛ワイナリー
鎌倉 怜史さん

ワイン用ぶどう苗木等購入補助

160万円

ワーケーション施設等整備促進事業

167万円



多様な働き方や新しい働き方に対する取り組みの広がりに対応するワーケーション施設等を整備する事業者に対し補助金を2件の事業者に交付した。上限100万円、経費の1/2以内。

役場の対応も親切で思っていたより補助金利用のハードルが低くありがたかったです。今後も若者が事業にチャレンジできるような支援があると良いと思います。

Yatsugatake Small House
細野 浩二さん

視点

多様化する働き方やインバウンド需要にも対応できる施設が村内に整備された。今後の活用に期待したい。今後も時代に即した取り組みへの支援を期待する。

伸びゆく姿に村の未来を映す。

基盤

憩いの場を永く、快適に。

もみの湯長寿命化計画

168万円

開業後32年が経過し、平成21年の大規模改修を経て設備機器の更新を行ってきたが、屋根、外壁等は当時のまま。引き続き温泉施設として運営していくにあたり、建物機能をより安全に維持し、老朽化対策を計画的かつ効率的に施すための長寿命化に係る改修計画の策定。



〈スケジュール〉

令和4年度	長寿命化計画策定
令和5年度	基本設計
令和6年度	実施設計
令和7年度	工事

- Q 利用者の意見を聞いているか。
- A 7～12月まで改修のアンケート調査を行っている。多数の意見があり、中には新築希望やこのままでいいなどさまざま。
- Q 修繕のみの予定だったのでは。
- A 調査で大規模改修が必要となった。2億円弱という試算もあるが機械類が含まれていないのでもう少しかかるのでは。

指定管理者制度とは

地方公共団体が、公の施設の目的を効果的に達成するため必要がある場合に、条例で定めるところにより、法人その他の団体を指定管理者として管理を行わせることができる制度。



八ヶ岳自然文化園

もみの湯と縦の木荘などは、令和6年3月31日まで、(株)レパストが指定管理者となっている。令和5年3月定例会において、指定管理者選定審査会委員は、「行政関係者だけ」から「村の職員、知識経験者、その他村長が必要と認める者」の7名に変更されている。

現在の指定管理対象施設

原村ふれあいセンターもみの湯・原村レストハウス縦の木荘・原村観光体育施設・原村中央高原屋内ゲートボール場・八ヶ岳自然文化園・原村歴史民俗資料館・深山農村公園

視点

多くの人々が利用する施設であり、住民の関心は高く今後の動向が注目される。指定管理者の変更に続き大規模改修と大きな変化が続くが、赤字体質であるなど問題は多い。今後、住民にとってはより多くの利益をもたらす、村にとっては更に重荷になることの無いよう、慎重かつ的確な対応を求めたい。

基盤

村内事業者と家庭を支援。

原油価格高騰緊急支援給付金

310万円

第1弾・第2弾 緊急支援給付金

3,880万円

原油価格の高騰により、固定された加温設備のある農業施設で燃油を使用し、栽培・出荷を行った農業者31件に、1件10万円を支給。生産資材及び肥料等の高騰により、農業経営に影響を受けた農業者211件に、経費の5%、上限70万円を支給した。

主要肥料の価格高騰が激しく、3年前と比べて1.7倍から2.6倍の価格になっています。また近年の異常気象に対応するため、農薬を撒く回数が増えています。村の基幹産業が持続可能であるよう、水田の畑地化なども含め、村は積極的に取り組んでもらいたいです。



ブロッコリー・スイートコーン生産
湯澤 光一郎さん

第5弾・第6弾 事業継続特別給付金

2,437万円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に加え、原油価格や電気・ガス料金を含む物価が高騰したことにより経営に影響を受けた事業者（農業者を除く）に対し、5万円～10万円を支給。第5弾は221件、第6弾は234件に支給した。



冷蔵庫の電気代やトラックの燃料代が高騰する中、少額ではありましたが有難かったです。ただ、事業規模の大きな事業者だとわずかな補填にしかならないと思います。各種費用の高騰は取引している農業者への影響も大きいので、今後の動向を憂慮しています。

野菜卸売業
河野 豊さん

子育て世帯臨時特別給付金

1,098万円

原油高騰・物価高騰に直面する一定以下の所得の子育て世帯に、児童一人当たり1万円(対象者1200人)を交付し、生活支援を行った。

地域応援商品券換金額

3,837万円

第4弾・第5弾がんばろう原村応援商品券は、住民一人当たり5千円分の商品券を交付し、村内92店舗で利用された。生活者支援と事業者支援につながった。

基盤

地区行政を円滑に。地域の足を確かに。

行政区事務交付金

1,012万円

区及び自治会の代表者を行政嘱託員に委嘱し、村行政への協力を求めるとともに、各区・自治会活動の活性化と地域コミュニティ促進を支援するため、「事務交付金」を交付した。

[交付金の算出根拠]

- 均等割：15,000円（H10以降同一額）
- 文書配布手数料：世帯数×2,000円（H11以降同一額）
- 連絡調整費：世帯数×100円（H10以降同一額）
- 除雪対策費：世帯数×150円（H10以降同一額）
- 環境衛生費：世帯数×900円（H26新設）

- 行政嘱託員（区長）報償費等 184,709円
- 区・自治会への交付金

区名	世帯数	4年度交付金(円)
大久保	82	273,300
柳沢	182	588,300
八ッ手	189	610,350
払沢	559	1,775,850
柏木	240	771,000
菖蒲沢	114	374,100
室内	187	604,050
中新田	583	1,851,450
南原	116	380,400
判之木	61	207,150
上里	148	481,200
農場	15	62,250
やつがね	151	490,650
ペンション	102	336,300
原山自治会	355	1,133,250
合計	3,084	9,939,600

視点

平成10年から11年に創設された制度で、25年間据え置きでの交付が行われている。この間、社会情勢は激変しており交付内容が現状に合っているか、検討の時期にきている。

公共交通実証運行事業

913万円

令和4年10月31日から令和5年5月31日まで、AI乗合オンデマンド交通「のらざあ」の実証運行が実施された。期間中の乗車人数は706人で、70代と80代が66%と多く、乗降場所は、諏訪中央病院が最多、次いで原村役場、もみの湯の順であった。この結果を受け、令和6年2月から運行開始となる予定。

Q 原村循環線（セロリン号）廃止の理由は。

A 赤字が大きい（令和4年度の公共交通赤字補填は1,800万円）。朝夕の通学通勤支援便と穴山・原村線は残り、日中は「のらざあ」へ置き換える。

視点

「地域の足」としての公共交通となること、また、利用者を安定して確保できるよう利用しやすい環境整備も併せて進むことを期待する。

企業版ふるさと納税制度を活用した寄附金

2,000万円

茅野市の企業より、企業版ふるさと納税制度を活用した2,000万円の寄附金があった。

寄附者の意向により、進んでいなかった子育て支援環境の整備に活用した。

【活用内容】

- 子育てフォローアップ事業 …………… 110万円
スクパスアプリ導入使用料（5ヶ月412人分）
子ども食堂実施補助（20万円×5団体）
- 保育園北駐車場舗装工事 …………… 1,400万円
- 教育施設周辺道路環境整備 …………… 128万円
- 道路碎石敷均工事 …………… 62万円
- 総合型スポーツクラブ運営補助金
…………… 300万円



現在の保育園北駐車場

視点

子育てと教育の充実を支援する補正だが、特定の団体への補助とも考えられる部分もあり、対象を広くするべきではないかという意見があった。今後、住民全体が受益を感じる分配がされ、信頼度を高めていくことが求められる。

がん患者アピアランス（外見）ケア助成事業

12万円

がん患者の外見変化に起因する苦痛を軽減するケアと就労や社会参加を促進し、生活の質の向上を図るため、医療用補正具購入費用の一部を補助する。

【対象補正具の区分と回数】

- 頭髪補正具 1回
- 乳房補正具 左乳房・右乳房
毎に1回
- その他補正具 1回

Q 同じ方が何度も補助金申請をして良いのか。

A 1区分、1回のみ。上限は2万円。

Q 癌は転移することもある。なぜ1回だけか。

A 県の補助要綱、近隣市町村の状況を参考にした。目的にある心理的苦痛等の軽減につながらない場合は、その時点で検討する。

令和5年度
一般会計補正予算



賛否が分かれた議案等

- 賛成、× 反対、△ 趣旨採択又は一部採択に賛成、
- ▽ 退席、－ 欠席、議長は可否同数時のみ裁決する。

		審議結果	芳澤清人	半田裕	平出敏廣	森山岩光	村田俊広	小松志穂	宮坂早苗	百瀬嘉徳	佐宗利江	中村浩平
《村長提出》												
議案第35号	令和5年度道路メンテナンス事業補助 村道2011号線D-2-4橋架替工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
認定第1号	令和4年度原村一般会計決算の認定	認定	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
《請願・陳情》												
陳情第4号	「健康保険証」の存続に関する意見書の提出を求める陳情 《長野県保険医協会 会長 宮沢 裕夫》 《諏訪地方社会保障推進協議会 会長 毛利 正道》	不採択	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○
陳情第5号	原村保育所保育料徴収金基準額表の見直し、引き下げの陳情書 《原村立保育園 保護者会長 膳師弘育》 《ハケ岳風の子保育園保護者会共同代表 樋口 千尋、山田 恭平》	議長裁決 不採択	×	○	○	×	○	○	○	×	×	×
陳情第7号	「マイナ保険証」への一本化中止を求める意見書提出を求める陳情書 《新日本婦人の会原班 班長 小林 ますみ》 《諏訪地方民主商工会原支部 支部長 稲葉 恭一》 《農民運動諏訪農民センター 代表 菊池 敏郎》	不採択	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○

「マイナ保険証」への一本化中止を求める意見書提出を求める陳情書

国はマイナンバーカードに健康保険証を一本化することを決めた。しかし、医療情報のひも付けのミスが発覚し、医療保険制度の根幹が揺らぐ状況となっている。医療情報の誤りは命につながる重大な問題。「マイナ保険証」への一本化をやめ、現状の保険証の存続を認めるよう意見書の提出を求めるもの。

- Q** 一本化の事務作業時に、入力ミス無くせば、混乱しないのでは。
- A** 一本化に反対。保険証を並行して使用できるようにするべき。

反対討論

- ・マイナ保険証は省力化するためのマイナ保険証でありメリットもある。中止は進んでいる施策に対し逆行し住民の混乱をきたすことになる。
- ・保険証を継続使用する場合、事務の手間が二重となり、現場の負担がいつまでも軽減されない。マイナンバーカードへの一本化が望ましい。

賛成討論

- ・一元化は決して悪い事ではないが、十分このカードが普及・浸透していない以上、時期尚早であることは間違いない。よって陳情に賛成する。
- ・トラブルが多く発生し、国民の不安が解消されていない以上、「マイナ保険証」への一本化はすべきでなく、陳情に賛成する。

原村保育所保育料徴収金基準額表の見直し、引き下げの陳情書

コロナ禍を契機に価値観や働き方が変化し、若い世代は住む場所を子育て環境で選ぶと言われている。満3歳以上の保育料は無償になったが、未満児の保育料は若い世代にとっては、経済的な負担が大きい。保育料基準額表の見直しと引き下げを求めるもの。

- Q** 陳情者は、基準額の見直し優先か、見直しと引き下げか、引き下げのみか。
- A** 見直しと捉えている。3・4階層については、他の階層よりも負担率が大きい。
- Q** 多いと言われる3・4階層の人数は。
- A** 標準時間5名、短時間6名で合計11名。

反対討論

- ・減額は受益者負担の原則から外れる。減額すると間接的に他者に負担させることになり、まだそこまでの住民合意は得られていないと考える。
- ・村は、所得基準で保育料を徴収している。風の子保育園は、認可されて保育料が上がったと言うが、関わらない多くの住民に説明できない。

賛成討論

- ・理想の子ども数を持ってない最大の理由は子育てに係る経済的負担という調査結果もあり、子育て世帯の支援は少子化対策として不可欠。
- ・親の働く環境、子育ての環境が大きく変わってきている。少子化対策をしない自治体に、持続可能な未来があるとは考えられない。

(賛否同数のため議長裁決とする)
議長：現状維持の原則に従い不採択とする。

事務組合
とは

市町村単独では実施が難しいものや、共同で実施したほうが効率的な事業や施設運営を行う組織です。原村に関係するものは下記の5組合があります。原村議会からも各組合の議会に議員として参画し、また、村では運営に必要な費用を負担しています。

一部事務組合決算総額・原村負担金内訳

単位：千円

会計別		歳入総額	歳出総額	原村負担金
諏訪広域連合（6市町村）				268,945
一般会計		374,072	333,939	1,978
特別会計	救護施設八ヶ岳寮	371,955	332,372	442
	介護保険	20,489,525	19,955,646	121,800
	諏訪広域連合消防	2,557,051	2,441,376	144,725
	諏訪地域ふるさと振興基金事業	26,503	12,360	—
諏訪南行政事務組合（原村・茅野市・富士見町・諏訪市）				58,133
一般会計		110,456	97,700	7,138
特別会計	ゴミ処理特別会計	716,423	645,523	50,995
南諏衛生施設組合（原村・富士見町）				42,577
一般会計		178,142	143,129	42,577
諏訪中央病院組合（原村・茅野市・諏訪市）				84,006
病院事業		11,196,538	10,594,617	74,911
老人保健施設（やすらぎの丘）		399,917	433,521	170
看護専門学校		130,295	130,514	8,925
介護老人福祉施設（ふれあいの里）		436,886	440,406	—
諏訪広域公立大学事務組合（6市町村）				107
一般会計		3,100	2,928	107

諏訪南行政事務組合ごみ処理特別会計清算金

令和3年10月から諏訪南リサイクルセンターの稼働に伴い、資源物の分別収集方法に変更があり、令和3年度の歳入歳出差引額を、令和4年度に繰り越した。このことにより、令和4年度の歳出不用額と歳入で予算を超過した収入となったため、清掃センター分、リサイクルセンター分の事業ごとに区分けして清算し、各市町村に返金した。

繰越金	204,081,194円 (R3→R4)	
清算対象額	145,877,194円 (R4決算にて清算)	
清算額内訳	原村	25,047,505円
	茅野市	82,071,786円
	富士見町	38,757,903円





諏訪南リサイクルセンター▶

令和4年度
各事務組合決算

9月 定例会

一般質問

一般質問とは、議員が村政全般にわたり、執行機関である村に対して、事務の執行状況及び将来への方針などについて疑問点をただし、報告、説明を求めることです。
9月定例会では10人の議員が登壇し、村政課題への提言や質問を行いました。色付きの項目は本誌面で取り上げています。その他(黒字)項目については会議録をご覧ください。

<p>芳澤 清人 議員 よしざわ きよと</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 村政 2. 村の教育 3. 中学校の部活動の地域移行 4. 小中学校の一貫教育の検討を 5. 原付ナンバープレートデザインのデザイン化を 6. 婚姻、出産のお祝いメッセージを 7. 運転免許証返納者 	<p>森山 岩光 議員 もりやま いわみつ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 村長就任にあたり、公約実現に向けての思いと決意は 2. 近年、集中豪雨による被害が顕著になっている。更なる防災の強靱化策、改善整備を推進すべきでは 3. 村の衛生管理 4. 通学路への歩道設置の進捗と、歩道管理状況は 	<p>平出 敏廣 議員 ひらいで としひろ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小、中学校の給食費無償化とオーガニック(有機)給食への取り組みを 2. 諏訪地域合併についての考え 3. 地域交通対策 4. セロリン号を利用する通学 5. 結婚・出産祝い金についての考え 	<p>中村 浩平 議員 なかむら こうへい</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 道路管理がなっていない、改善を 2. 閉鎖的な村政からの脱却を 	<p>百瀬 嘉徳 議員 ももせ かとく</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 原村診療所の医療体制 2. 豪雨等で畑等から流れ出した土砂の撤去 3. 保育園北側駐車場等 	<p>村田 俊広 議員 むらた としひろ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ハケ岳中央農業実践大学院 2. 職員の労働条件等 3. マイナカードの本村における現状
<p>半田 裕 議員 はんだ ひろし</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 住民との連携による行政運営を 2. 目的を明確にした教育行政の運営を 3. 「はろっば」のさらなる活用に向けた、利用者や地域と連携を 4. ICT教育の推進のため、課題の洗い出しと実現のための具体的な取り組みを 5. ICTを活用した積極的な情報発信を 	<p>小松 志穂 議員 こまつ しほ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 来年度以降の放課後の子どもの居場所はどのようになるのか 2. 「はろっば」の活用をどのように進めていくのか 3. 「育休退園」問題への対応と多様化するニーズに応じた子育て支援を 4. 基幹産業としての農業支援をどのように進めていくのか 	<p>佐宗 利江 議員 さそう りえ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校給食への有機米の導入 2. 農業施策 3. 水道料金の徴収 4. 小規模集落に対する支援 5. 庁舎駐車場 	<p>宮坂 早苗 議員 みやさか さなえ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 農政補助事業、商工業活性化補助金の村単独事業部分について、横断的な補助対象への見直しを考えては 2. 公共施設の断熱と省エネの実施を 3. 専門的な分野の人材活用の取組みとして、地域活性化起業人事業の活用を考えては 4. 目的不明な土地取引や水資源保全のための水資源保全地域指定の研究を行なっては 	<p>一般質問は、事前に質問内容を通告することになっています。 質問時間は、1人につき質問答弁を含め60分以内で完了することとされています。 一問一答方式が採用されており、1項目につき2回まで再質問ができます。 一般質問は、HP・YouTubeで視聴できます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="167 1736 263 1848">  <p>YouTube 動画配信</p> </div> <div data-bbox="167 1926 263 2038">  <p>議会会議録 検索</p> </div> </div>	

部活移行

問 中学部活動の地域移行を

答 近隣市町と連携し進める

問 中学校部活動の地域移行を進める考えは。

問 小中学校の一貫教育の検討を。

村長 学校単位でスポーツを担ってきたやり方を変える時が来ている。子どもたちのスポーツ環境を向上させるには地域で責任を持つて取り組むことが重要と考える。

教育長 今も英語など教科学習は連携しているが、具体的な方向性は示されていない部分がある。児童・生徒を

見る目であったり、様々な対応の方法など小中で同様に進められることが大事。校舎分離型一貫校としての推進は現在も可能であり行っていく。内容を含めて検討していく。

教育長 部活動の地域移行は少子化が進む中、教員の働き方改革にも直結できるものであり

村のPR



芳澤 清人 議員

問 原付プレートのデザインを

答 村政150周年で実施検討

問 原付バイクのナンバープレートを村独自のデザインで親しめるナンバープレートをつくっては。

住民財務課長 原動機付き自転車等のオリジナルナンバープレートは自治体のアピール、郷土愛を深めることを目的に県内でも17市町村が導入している。令和6年度に村政施行150周年を迎えその記念事業の一環として原付ナンバープレートのオリジナル化実施を検討している。

地域の声

問 公聴制度の充実強化を

答 「移動村長室」を開設

問 村長就任にあたり、公約実現に向けての思いと決意は。

村長 昔から住む人と新しく来た人の意見乖離は非常に大きいと感じている。ここで「移動村長室」を開設し公聴機能を強化した。今までは役場にきて頂き

り現場に向いて住民の方と膝を交えて話し合い、現場の状況をよく見ながら問題点を一緒に考え、住みやすい村づくりに尽力する。

村長 第一に行う事は、現状を把握し課題を洗い出しその課題解決に向けて尽力する。まずは安全・安心・充実した子育て、教育に取り組む。

豪雨災害

問 エコラインより上に住む人が村全体の人口の約3分の1と増えており、昔から住む人と新しく来た人が融和していく必要があると認識するが、村長の考えは。

問 6月の集中豪雨は、近年にない被害件数が発生した。例えば道祖神川の氾濫で川下の住宅地周辺に被害が出た。国土強靱化地域計画に絡めて早急に改善整備すべきだ。



森山 岩光 議員

問 強靱化計画の早期策定を

答 豪雨災害を教訓に進める

建設水道課長 対策が不十分だった。今回の集中豪雨を教訓に、国土強靱化地域計画策定と並行して、地元区の要望や危険度の高い箇所から優先的に事業を進めたい。護岸や堆積土砂の撤去などは適切に考えていく。

学校給食

問 給食費の無償化の考えは

答 課題等、把握をしていく

問 家庭における学校給食費の負担額は小学校で年間約4万8千円。中学校では約5万6千円の負担となっている。長野県内の21の自治体では無償化の実施しており本村でも小中学校の給食費の無償化を進めるべきでは。

問 オーガニック給食の取り組みの考えは。

教育長 オーガニックは環境への配慮子どもたちの健康面に良いことなので取り組むことは大切なことと考え

る。食材の必要量の安定的な確保や、害虫等の心配による野菜の下処理の手間、コスト増大が想定され食材費高騰も懸念される中、現段階では難しい。

合併問題



平出 敏廣 議員

問 六市町村の合併について

答 合併せずに残して行きたい

問 六市町村合併についての話題が出ていると聞くが村長の考えは。

村長 実現するには村の財政事情や国からの支援等も含め慎重に検討する必要があります。と子供への教育として感謝の心を持つて育ってほしいことから、今後検討して行きたいと考えております。

村長 市町村合併は村長が単独で考えることではなく住民の意見が一番であると考え。私見として本村は合併せずに残して行きたいと思うのが思いとしてあります。人口減少や少子化が進むことを前提に考えると単村で可能なことは単独で、広域連携を前提とした利用範囲については近隣市町と共通化出来る部分は共通化していく。

道 路

問 道路管理がなっていない

答 注力しなければならぬ

問 この8年間に道路管理の不備で、村が損害賠償した件数とその金額は。

建設水道課長 賠償件数は21件、賠償金額は全部で220万円。

問 歩道上の草が放置され、その草刈りが地元任せ、善意任せになっている。本村の場合主要な通学路がほぼ県道であるため、今後の方針を県としっかり協議し、その結果を住民に報告すべきであるが。

建設水道課長 放置していると捉えられても致し方無い部分もある。本来は道路管理者が行うべきもの。

情報公開



中村 浩平 議員

問 閉鎖的な村政からの脱却を

答 今後は積極的に公開する

問 村長への手紙や、ふれあいトークの内容を前村長は公開しなかった。

この制度は役場や村内で発生している様々な問題を住民が知る上で非常に有益なものである。県は従前から公開しているのに村が公開しなかった理由は。

村長 議員おっしゃる通りで、出来ていなかったことは改める点と考えている。今後は意見を何らかの形で公開していく。



百瀬 嘉徳 議員

問 車のスムーズな通行と交通安全のため、東から西側に向けてこの駐車場を含めて一方通行を考えたかどうか。

村長 保護者会からも要望があるので、子供たちのために企業版ふるさと納税等を利用して、駐車場整備をした。

診療所

問 診療所の医療体制は

答 現状のまま

保健福祉課長 検査人数が減ったため止めた。

問 医療検査で胃カメラは出来ないか。

保健福祉課長 協力関係にある諏訪中央病院共に長期的に勤務をいただける医師の確保に取り組みたい。

問 原村診療所の医師は2名体制になり丁寧に診察されているが、頻繁に医師が異動するようになった。患者としては、主治医となつて長く見てほしいが。

保育園

問 保育園北駐車場の舗装を

答 舗装を実施する

問 保育園北駐車場の送迎時には混雑し、土ほこりが上がって見通しが悪い。また人や車の擦れ違いが危ないので舗装にするべきだ。

子ども課長 保護者会と協議をしていきたい。

建設水道課長 あの周辺は図書館、保育園、公民館、体育館などの教育施設があり、子ども子育て支援センターも出来たので、行き来する歩道の整備も必要と思う。

問 この駐車場前と図書館前までの道路南側に歩道を設置したらどうか。

実践大学

問 原村のシンボルへ支援は

答 就農支援等取組んでいる

問 ハケ岳中央農業実践大学は原村にとつて極めて重要な施設。経営の厳しさも聞こえてくるが、村長は評議員として関与できる。村の関わりと支援について聞く。

問 学費も高額であり、下宿の費用もかさむ。学生への支援は考えられるか。

農林課長 学生の村内への就農希望については、農地の斡旋を行なっている。また国の新規就農者向けの補助を活用した交付金による支援も行なっている。

共同参画



村田 俊広 議員

問 女性幹部の登用方針は

答 管理職への登用目標がある

副村長 多様な視点を村の施策に生かすため女性職員を積極的に配置していく。国の基本計画では令和7年度末、課長職の女性の割合は22%の成果目標と設定されている。本村では30%以上にするという目標を定めている。現在課長0人だが、重要なポストで女性が係長として勤務している。

問 長野県のジェンダー平等指数は低い。原村から打開すべき。女性幹部の登用の方針と実践について聞く。

行 政

問 住民参加の計画策定を

答 第6次総合計画で検討

問 第5次総合計画策定次の課題として、短時間で委員が全ての分野を検討するため十分な議論ができないという点があった。これを解決するために基本計画を分野別に分け、担当課と住民・有識者とともに策定しては。

くりとして子ども会議の取組みを行なっては。

教育長 村にとっても大変有意義な取り組みだと考える。具体的な進め方については今年度実施予定の子ども・

子育て支援事業計画策定にて考えていきたい。

副村長 子どもたちの声について第6次総合計画策定の中でもアンケート等で反映させていきたいと考えている。

情 報

総務課長 分野ごとに分け住民の方に関わって頂き進めていけるよう前向きに検討する。

問 子どもたちの声も重要な住民の声。子ども達の可能性を發揮することができる環境づ



半田 裕 議員

問 ICT活用の情報発信を

答 試験的な実施を検討

問 有線放送がHPで公開されているが、より住民へと届くようLINEでの発信を行なっています。

副村長 職員にLINEでの情報発信が可能か調査を行い、来年度試験導入を検討する。

問 情報防災係が指揮を取り、各課が講座や説明会等の内容を動画配信すべきでは。

副村長 各課が配信できるよう、マニュアルの作成を進める。

子 育 て

問 放課後の子供の居場所は

答 適切な方針を探る

問 今後の「原っ子広場」がどうなるのか不安の声があるが。

村長 「はらっば」がより望ましい放課後の居場所となるよう検討する。

教育長 必要があれば増設も考える。受入れ場所の確保問題も検討しながら、子ども達が安心して過ごせるよう適切な方針を探る。

要望 特に低学年にお

いて、安心安全な居場所のない子どもが生じないよう尽力を。

利用者の声を聞くのはもちろん、検討の結果が子どもや保護者に迅速かつ正確に伝わるよう努めて欲しい。

子 育 て

教育長 住民や放課後子どもプラン運営委員会の意見を鑑みながら方向を探る。

問 今後の「原っ子広場」の方向性次第では、児童クラブの増設や利用料の見直しを含む整備も必要と考えるが。



小松 志穂 議員

問 育休退園の見直しを

答 寄り添った支援をしている

問 下の子を出産して育児休業を取得すると未満児保育を利用する上の子が退園となる「育休退園」がある。家庭の意向で選択できるように見直すべきでは。

教育長 それぞれの家庭に寄り添った支援を行っている。望ましい保育の形とはどのようなものか、ニーズや問題点を探り検討する。

要望 多様なニーズに対応できる子育て支援を。同時に保育士確保にも継続して尽力を。

学校給食

問 村内の減農薬米の導入は

答 価格が合えば導入検討を

問 全国的に地元産の有機栽培米を農協とも連携し、導入する動きが増えている。保護者のニーズも増えていると感じるが村の考えは。

教育長 現在も村内産の米を使用している。

減農薬米もいいが、価格が上がると給食費の値上げにもつながる。オーガニック給食と合わせ、実現性の高い所から検討する。

問 室内地区で取り組まれているレス50という減農薬米は、手間がかかるが収量が少なく、

生産者が減少傾向にある。給食に取り入れることで有機栽培米を含め生産拡大も考えられる。給食の全てではなく、一部分のみや混合する等の方法はある。

昨今の給食への地元有

機栽培米の導入の流れにはピタリだが。

教育長 価格と安定的な供給が可能であれば利用は可能。農林課や農協等にもリサーチをし検討していきたい。

地区



佐宗 利江 議員

問 小規模地区への支援は

答 区長懇談会の議題とする

問 全国的に少子高齢化により集落の小規模化の問題が進んでいる。自治体が関与するケースも見られるが村として検討していく必要は。

総務課長 各地区の自主性を尊重する必要があり、現在は直接関与しない。現在は、交付金として除雪対策、文書配布手数料、連絡調整費とし、15地区年間1000万円を支払っている。定期開催の区長懇談会の議題として、各区のノウハウを共有し検討して欲しい。

村単補助

問 産業間での横断的活用を

答 迷わないように見直す

問 商工業活性化補助金の改築にかかる費用、償却資産の導入に係る費用、新製品の開発費等、農業でも必要とする。産業間で横断的な利用ができるよう産業振興補助と見直ししては。

村長 災害が増えていることは認識している。災害時の10万円未満の補助は難しい。他の商工業を含め、全ての中でバランスをみていかなくてはいけない。

問 村単の農業後継者補助金を、産業後継者補助金として考えては。

商工観光課長 商工業は、お祝いよりも、事業承継・引継センターを案内する。

資源保全



宮坂 早苗 議員

問 水資源保全地域指定を

答 研究し、判断していく

問 今後、個人の森林所有者に森林経営を行うことが求められ、確認を行う作業に入る。この機会に、「長野県豊かな水資源の保全に関する条例」にある民有地の水資源保全地域指定の対象について、研究を行う考えは。

建設水道課長 研究を行わなければならない。現在、飲料水は深井戸で確保している。周囲の開発については、条例で許可している。併せて、指定について研究し、判断していく。

きかせて

議員が訪ねてお話を伺いました



芳澤 清人 議員 森山 岩光 議員



楽しかった記憶はつながらる

芳澤 「原村よいしょまつり」、4年ぶりの開催となりましたね。

田中さん 村の皆さんがこうして集まって、マスクなしの笑顔でいる様子を目にする、開催できて本当に良かったと思います。

小松さん 子どもの頃「村のお祭りが楽しかった」という記憶は、大人になって村に戻ろう、村で暮らそうということにもつながると思います。子どもたちに楽しんでもらえる祭をつなげていきたいと思っています。

森山 商工会青年部の現状を聞かせてください。

田中さん 20人弱で活動していますが、県の商工会同様に原村でもメンバーは減っています。原村では農業の後継者や若い就農者はいるのですが、商工業を後継する人が少ないのが課題です。

芳澤さん 仲間が広がっていったらいいなと思います。既存の事業者は

かりでなく、「新しいお店をやってみたい」というような方も一緒に加わって話ができたら、原村の魅力が広がるのではないのでしょうか。

小松さん コロナの影響で集まりや親睦の席がなくなってしまい、行事やイベントへの参加が薄くなってしまったように感じます。村への愛着や「参加しよう」と思ってもらえる機会が増やせればと思います。

芳澤 村や議会への要望があれば。

小松さん 茅野市はDMO（観光づくり法人）を立ち上げたと言います。民間と行政の間に入る機関として原村でもその設置を検討してもらえたらいいのではないのでしょうか。

芳澤さん 原村は「美しい村連合」に加盟しており、観光的な意味からも村の景観は大きな要素だと思えます。道路整備や電線地中化など近隣市町村に学んで、よいものは取り入れていってほしいと思います。



田中 直樹さん(南原)



小松 聡志さん(中新田)



芳澤 慧也さん(中新田)

編集後記

新村長をはじめ、教育長、副村長と体制が一新した初めての議会が行われ、何となくさこちない空気の中での9月定例会が終了した。多くの変化がある中で、今までより、より一層の責任の重さを感じている。また、議会でも多くの改革が進められる中で、意図せず副作用が発生しないよう気を引き締めていきたい。

今定例会は決算審査であった。多くの金額が様々な使途で使われたが、適正であったかどうかを調べるのも私たちの重要な仕事である。納税者の意図を汲んだ使途で利用できたかどうか。そんな疑問を持った。予算を執行するにあたって、意識しなければいけない事だと常日頃から感じられていただろうか。心がけていきたい。

長い暑い夏が終わったかと思えば、寒暖差の激しい日々の中で。
(佐宗記)

議会広報広聴常任委員会

委員長	宮坂 早苗
副委員長	佐宗 利江
委員	芳澤 清人
委員	森山 岩光
委員	小松 志穂

議会の傍聴にお出かけください

次の定例会は
11月29日(水)
開会予定です

- ・ 役場2階総務課前で受付後、傍聴席にお越しください。
- ・ 会期中は委員会の傍聴もできます。

[問い合わせ]
議会事務局 ☎0266-79-7951